

令和元年度第1回学校運営協議会 記録

日時：令和元年7月2日（火）10：00～

場所：本校会議室

1. 校長挨拶

<校長より>

<各学部の様子報告>

事務局：小学部は1年生が14名入学。全部で83名。部付きのコーディネータは学校全体を見ています。中学部は1年生が31名入学で大人数。全体としては落ちついて過ごしています。高等部は1年生が26名入学。高等部はカリキュラムを含め色々と活動内容の改革を進めているところです。本年度から50分授業を開始しています。来年度から、職業自立コースについては別クラスにするのではなく、抽出での授業展開を実施する予定です。来年度から、生活自立コースのカリキュラム内の選択授業の科目を増やす方向で検討中です。

2. 中学部授業見学

（中学部2年、数学） 授業概略の説明、質疑応答

3. 資料の確認（略）

4. 委員紹介（略）

5. 事務局紹介（略）

6. 本校の現状報告

<学校経営計画について>

校長：めざす学校像について本校の学校教育目標は「たのしくゆたかにげんきよく」ですが、児童生徒も保護者も教職員もみんなが言える目標ということが素晴らしいと思います。

- ・<たのしく>について取り組んでいること

シラバスを小中高のつながりを考えながら検討。夏季休業中に全校で取り組む。

高等部は50分授業を本年度より開始している。

校内研修は、障がい理解とキャリア教育の観点から他学部の状況を知ることを重点に
コーディネータは4人体制で学部の垣根を超えて支援。

リーディングスタッフはケース会議の活発化を図る。

- ・<ゆたかに>で取り組んでいること

昨年度キャリアマップを作成し、今年度は周知の年。カラー刷りで配布の予定。

キャリアマップを活用し、学部学年を超えた取り組みをめざす。

新たな取り組みとして、進路先見学を夏季休業中に実施。90人の教員が参加の予定。進路指導を手厚くという方針で、高等部のどの教員も進路指導に取り組む体制を組む。

- ・ <げんきよく>で取り組んでいること

人権意識の向上を図るために、まず言葉使いからの意識向上を図る。

防災については、この夏に教員の安否確認をスマホで行う訓練を計画している。

これを踏まえ、次は保護者対象に実施することを考えている。

実際の災害時を想定した自治会との連携訓練は実施済み。

<研修研究計画について>

事務局：今年度の校内研修計画について報告。特に個別の指導計画のワーク、障がい理解につながる研修を実施予定。また、新採10年目の教員の研究授業が多く行われるので、全校あげての授業改善意識の向上につなげる。

<令和元年度教科書の選定について>

新規採択の本についての紹介。道徳の教科書、ソーシャルスキルに関連する教科書など書名を挙げての説明、見本の回覧。

<平成30年度進路状況報告>

進路部長より、平成30年度卒業生の実習先、進路先について一覧表を基に説明。進路先の傾向についても説明。

7. 協議（進行は会長のA委員）

A委員：それでは協議を始めます。まずは、見学した授業について感想を出しあいましょう。

C委員：九九の動画を見て、リズムに乗って九九を声に出して言っていて、とても楽しそうだった。そのあとのプリント学習では、九九を記入していくのだが、リズムをとって声に出して確認しながら書いている子や、丸暗記なのかサッサと書いてしまう子など多様な様子だった。九九の順番をシャッフルしたらできるかな？と思った。

D委員：視覚から、音楽から、学習を進めるとわかりやすいと聞いていたが、具体的にこのようになるのかとよくわかった。

E委員：子ども側についている教員が、子どもの様子をよく見ていて、上手に声をかけていただいていた。

F委員：事業所の方で、CDレンタルの仕事の必要性からかけ算をメンバーに教えたことがある。かけ算を覚えても、覚えたことをどう生かしていくかが課題であると考えている。

A委員：黒板に映像を映すと不明瞭。せめて、模造紙を貼ればと思った。先のご意見と同じく、この学習をどう次のステップにつなげるかが課題と考える。

A委員：次に学校経営計画についてご質問、ご意見がありましたら。

F委員：水害の想定はどのようになっているか？校長室や事務室1階だが、大阪市内は校長室など2階に設置されているのだが。

事務局：防災委員会としてお答えします。高川、神崎川2つの浸水を想定している。幸い職員室は2階。ネットワークシステムは1階なので検討課題。

事務局：補足します。ネットワークは本校では複数系統があり、そのうちの1系統が2階にあります。

この状況を踏まえて今後検討します。

A 委員：職場・事業所見学はとても良い取り組みだと思う。見学に行く教員は希望制ですか？

事務局：はい、そうです。今回は5ヶ所選定し、各見学場所に可能な人数を上げてもらった。

F 委員：見学は良いことだが、見学でどこを見るかということもテーマだろう。

事務局：活動内容とそこに在籍する卒業生の様子と考えている。

F 委員：事業所に関わるものとしては、そこで働く職員の動きも見て欲しいという思いがある。

A 委員：研修計画についてどうですか？

校 長：キャリア・進路の研修としてインクルーシブ雇用についての研修を実施予定。

事務局：U 企業は3年ほど前に障がい者雇用について大幅にそのやり方を変えたという経過がある。このように、雇用について企業は見直しを図るという流れがある。

A 委員：教科書についてはどうでしょうか。使用率は分かりますか？

校 長：数字はわかりませんが、文科省の☆本は近年内容の見直しがありかなり充実してきているという印象がある。☆本の採用を今後検討していきたい。

E 委員：内容を見ると子どもが好きな内容だと思うので使って欲しいという思いがある。

A 委員：進路についてはいかがでしょうか？

E 委員：多数の実習先に行っているが、実際に就労となると少数であるが、これはなぜでしょうか？

事務局：一人の生徒がいくつも実習に行っている。希望の異業種にも行っている。これは進路選択の確認のためである。実習だけ可能というところもある。

校 長：実習については、高1からもできるように変えた。今後、中学部でもできればと考えている。

F 委員：この学校の生徒たちは結構作業スキルは高いという印象がある。

C 委員：たくさん実習先があることは生徒にとっていろんなところが見られるのでよいこと。中学校も高校入試でいろんな高校を見るように機会を設けている。

8. 本日のまとめと挨拶（略）

9. 事務局より

・2回目3回目の日時の確認と、その際の協議内容についての希望があればよろしくとの連絡。協議員のメンバーが一人変わることの連絡。

10. 閉会 12:00閉会